

# 応急処置

前原市立南風小学校

柴田美恵子

## 1 デジタルコンテンツの特質

わかる授業を組み立てるためには、デジタルコンテンツが有効であると言われています。楽しく学習を進めるために動きを取り入れたりすることができること、また、再現することが容易であること、また、絵や写真の提示が簡単にできること、必要な情報を焦点化することが簡単にできること、などがあげられます。

## 2 コンテンツの作成に当たって

わかって楽しい授業づくりをするために、以下のことを目標としてコンテンツを作成しました。

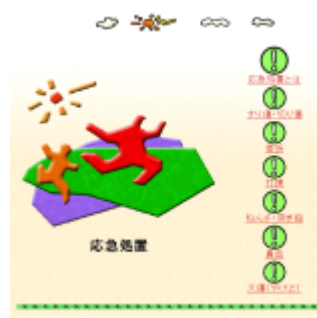
教材としてすぐに使える。

子どもたちが自分の課題と興味に応じて選択しながら学習を進めることができる。

子どもたちが簡単に操作できる。

1台ごとにソフトをコピーして使うのではなく校内のホストコンピューターにアクセスするとどのコンピューターからも簡単に操作ができる。(コンピューター室のPCすべてにコピーする時間が短縮できる)

子どもたちは、インターネットなどを利用することも多くなり操作には慣れていていることから、ホームページを開く感覚で学習できるように作成しました。



## 3 授業の実際



このコンテンツは、けがの防止の学習の最後に、まとめと実習ができるように項目ごとに分けています。子どもたちは、この単元で学んだことと自分のケガの経験などを思い起こしそれぞれ興味のあるところから見ていきました。マウスだけの操作で楽しく学習の振り返りをすることができます。

教育実践研究要旨（デジタルコンテンツによる提出）

学校名	福岡県前原市立南風小学校	職名	養護教諭	氏名	柴田美恵子
ファイル名	oukyuusyoti				半角英数
以下の内容は、教育センターのデータベース検索に必要な情報です					
教科・領域等 (必須)	保健・体育    ティームティーチング 健康教育				
理容学校種	小学校				
対象学年	小学校 5 年				
動作環境(OS)	WinXP				
動作に必要なアプリケーションソフト名	インターネット    エクスプローラ				
著作権及び利用条件					
[著作権]					
<p>応急処置の著作権は柴田が有しております。</p> <p>但し、画像に関連した部分はテクノ出版株式会社の健康体系を利用しており、その著作権はテクノ出版株式会社にあります。</p>					
[利用条件]					
<p>以下の条件を満たす場合のみ利用を許可します。</p> <p>学校教育機関等における教育目的に限り、利用を認めます。</p>					

開発の要旨	けがの防止のまとめとして 簡単な実習に使えるように開発した。
コンテンツの内容	<p>サーバーに入れておけば、どのコンピューターからもアクセスすることができる。</p> <p>けがの防止と応急処置を、児童が見てみたい内容知りたい内容をホームページ感覚で見ることができ、一斉に同じところを見るのではなく個々に興味ある部分から見て実習もできる。</p>
操作方法	マイコンコンピューターから CD ドライブをクリックし ” 応急処置ホーム ” のフォルダーとショートカットを確認し、ショートカットをダブルクリックするとコンテンツを見ることができる。
活用事例	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 5年生 体育 保健 ケガの防止 まとめと実習</li> <li>2. 先ず遠足や修学旅行時に持って行く救急バックの中を確認しながら提示する。次に現実にも学校の救急バックを持って旅行や遊びには行くことはできないことを確認する。そこで、児童に身近な傘や定規・風呂敷・バンダナ・ハンカチなどを利用して応急処置をすることができることを確認する。そこで、コンテンツを見ながら応急処置を復習しながら、個々に興味のある部分を見ながら実習をさせる。その際担任と養護教諭は机間巡視を行いわからないところを個別に指導を行う。</li> </ol>